

# 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月29日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ  
 コード番号 6488 URL <https://www.yoshitake.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 島 勝彦

TEL 052-881-7146

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,400	13.0	444	133.9	593	91.5	431	80.0
2021年3月期第2四半期	3,008	13.1	190	34.6	310	27.7	239	27.9

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 117百万円 ( 60.5%) 2021年3月期第2四半期 298百万円 ( 22.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	33.79	
2021年3月期第2四半期	18.77	

(注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	14,114	12,177	85.8	948.62
2021年3月期	14,128	12,261	86.3	955.08

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 12,108百万円 2021年3月期 12,191百万円

(注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		30.00	30.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,960	11.1	770	68.6	1,070	37.5	810	37.5	63.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当該株式分割後の株式数により、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	13,934,946 株	2021年3月期	13,934,946 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,170,268 株	2021年3月期	1,170,268 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	12,764,678 株	2021年3月期2Q	12,764,678 株

(注)当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大が継続し、2021年4月に3度目の緊急事態宣言が発令され、感染拡大への懸念からサービス消費を中心に個人消費は伸び悩みが続きました。企業部門においては、海外経済の回復に伴う輸出の増加を背景に、製造業では増収基調となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい宿泊・飲食サービスや対人サービスでは厳しい収益環境が継続し、企業収益は二極化の様相を強めております。その一方で、新規感染者数が過去最多となった新型コロナウイルス感染症第5波は、9月に入り急激に収束し、4月に発出された緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置は9月30日をもって全都道府県で解除されました。それに伴い国内経済の活性化・景気回復が期待されますが、感染第6波への懸念など先行きは不透明な状況が続いております。海外経済においては、先進国を中心にワクチン接種の普及が加速し、移動制限は徐々に解消され、コロナ終息後を見据えたデジタル化・グリーン化投資が各国で本格化し、設備投資を中心に景気は緩やかな回復傾向で推移しておりますが、その回復は依然として不均一で、新興国ではワクチン普及の遅れによる経済活動の抑制が長期化しており、先進国と新興国の格差拡大が懸念されております。また資源、材料価格は上昇を続けており、先行きについては不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、国内顧客向け販売においては、テレビ会議による客先対応など、非対面型営業を前期に引き続き積極的に推進いたしました結果、コロナ禍による営業活動の制限を大きく受けた前期と比較して受注を増やし、国内売上は好調に推移しました。海外顧客向け販売においては、新型コロナウイルスに対するワクチン接種を加速させ感染抑制に成功し、景気回復が進む中国向けの販売は前期を大きく上回る売上を達成し、その他の東アジア地域や北米地域向けなどの販売も好調に推移した結果、販売活動全体としては前期を大きく上回る結果となりました。今後については、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せない状況の中、非対面型営業の体制強化と推進を行うとともに、引き続き新規案件と新規販路の獲得のための活動を行い、受注率の向上に取り組みます。また新製品開発をスピーディーに行い、市場での一層のプレゼンス向上と製品投入量を増やすべく継続的にこのテーマに取り組み持続的な成長を目指します。生産活動においては、自動化、省人化、工数低減など業務改善を進め、内製化率の向上と主力コア製品の原価低減を強力に推進してまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開した結果、連結売上高は34億円（前年同期比13.0%増）となりました。

損益面では、生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底した結果、営業利益は4億44百万円（前年同期比133.9%増）、経常利益は5億93百万円（前年同期比91.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億31百万円（前年同期比80.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は141億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少しました。主に現金及び預金が2億19百万円、有形固定資産が4億円増加したものの、投資有価証券が6億18百万円減少したこと、商品および製品が77百万円減少したことなどによります。

負債は19億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円増加しました。主に支払手形及び買掛金が41百万円増加したこと、未払法人税等が53百万円増加したことなどによります。

純資産は121億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少しました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益を4億31百万円計上したことにより利益剰余金が2億39百万円増加したものの、為替換算調整勘定が3億4百万円減少したことなどによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年10月28日の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響につきましては、今後の状況を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,551,856	2,771,750
受取手形及び売掛金	2,362,551	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	2,442,137
商品及び製品	1,025,363	947,418
仕掛品	712,810	652,274
原材料及び貯蔵品	805,649	862,637
その他	158,345	151,561
貸倒引当金	△11,226	△12,371
流動資産合計	7,605,350	7,815,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,019,553	3,312,941
減価償却累計額	△1,877,762	△1,887,076
建物及び構築物 (純額)	1,141,790	1,425,865
機械装置及び運搬具	3,682,055	3,518,808
減価償却累計額	△2,344,560	△2,342,038
機械装置及び運搬具 (純額)	1,337,495	1,176,770
土地	792,290	1,132,079
リース資産	139,318	128,405
減価償却累計額	△52,718	△54,091
リース資産 (純額)	86,600	74,313
建設仮勘定	102,956	48,972
その他	1,119,972	1,138,134
減価償却累計額	△1,066,052	△1,080,500
その他 (純額)	53,920	57,633
有形固定資産合計	3,515,052	3,915,634
無形固定資産	61,540	53,405
投資その他の資産		
投資有価証券	2,510,594	1,892,213
その他	471,571	473,467
貸倒引当金	△35,360	△35,746
投資その他の資産合計	2,946,806	2,329,934
固定資産合計	6,523,400	6,298,974
資産合計	14,128,750	14,114,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	550,198	591,955
未払法人税等	103,742	156,961
賞与引当金	154,137	134,839
その他	249,253	242,817
流動負債合計	1,057,331	1,126,573
固定負債		
リース債務	67,950	56,988
役員退職慰労引当金	302,021	308,846
退職給付に係る負債	409,779	410,268
資産除去債務	30,105	33,821
固定負債合計	809,856	809,925
負債合計	1,867,188	1,936,499
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	7,664,571	7,904,465
自己株式	△454,777	△454,777
株主資本合計	11,776,375	12,016,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,604	76,954
為替換算調整勘定	320,247	15,616
その他の包括利益累計額合計	414,852	92,570
非支配株主持分	70,334	69,044
純資産合計	12,261,562	12,177,883
負債純資産合計	14,128,750	14,114,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,008,236	3,400,040
売上原価	1,810,727	1,960,307
売上総利益	1,197,508	1,439,733
販売費及び一般管理費	1,007,315	994,875
営業利益	190,193	444,857
営業外収益		
受取利息	18,608	17,011
受取配当金	2,706	5,359
持分法による投資利益	122,478	79,473
為替差益	-	35,459
その他	9,434	14,176
営業外収益合計	153,226	151,480
営業外費用		
支払利息	1,213	918
売上割引	5,109	-
為替差損	25,249	-
その他	1,613	1,471
営業外費用合計	33,185	2,390
経常利益	310,234	593,947
特別利益		
投資有価証券売却益	-	9,535
特別利益合計	-	9,535
税金等調整前四半期純利益	310,234	603,482
法人税、住民税及び事業税	59,532	150,260
法人税等調整額	6,675	13,148
法人税等合計	66,207	163,409
四半期純利益	244,027	440,073
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,419	8,709
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,608	431,364

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	244,027	440,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,790	△17,650
為替換算調整勘定	△1,646	△273,805
持分法適用会社に対する持分相当額	11,944	△30,826
その他の包括利益合計	54,089	△322,281
四半期包括利益	298,116	117,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,697	109,082
非支配株主に係る四半期包括利益	4,419	8,709



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	310,234	603,482
減価償却費	214,126	202,682
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,664	△19,298
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,825	6,825
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	43,718	1,531
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4,485	3,878
受取利息及び受取配当金	△21,314	△22,370
支払利息	1,213	918
為替差損益 (△は益)	2,114	△9,454
持分法による投資損益 (△は益)	△26,460	2,902
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△9,535
売上債権の増減額 (△は増加)	304,899	△97,765
棚卸資産の増減額 (△は増加)	69,097	17,238
仕入債務の増減額 (△は減少)	△78,292	50,381
その他	△67,099	△86,206
小計	727,912	645,211
利息及び配当金の受取額	13,361	73,473
利息の支払額	△1,213	△918
法人税等の支払額	△76,974	△77,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	663,086	640,344
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,083	△10,083
定期預金の払戻による収入	10,082	10,083
有形固定資産の取得による支出	△90,615	△715,177
有形固定資産の売却による収入	123	2,413
無形固定資産の取得による支出	-	△7,455
投資有価証券の取得による支出	△76,887	△65,819
投資有価証券の売却による収入	-	341,290
投資有価証券の償還による収入	-	300,000
その他の支出	△16,399	△14,307
その他の収入	24,580	2,833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,199	△156,223
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△216,999	△191,470
非支配株主への配当金の支払額	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△13,860	△13,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,860	△214,642
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,665	△49,583
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	257,360	219,895
現金及び現金同等物の期首残高	2,329,569	2,516,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,586,930	2,736,566

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、この変更による当第2四半期連結会計期間の損益に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる時価の算定方法に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,755,597	252,638	3,008,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,820	658,308	704,129
計	2,801,418	910,946	3,712,365
セグメント利益	110,587	82,412	193,000

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	193,000
棚卸資産の調整額	△1,022
セグメント間取引消去	△1,784
四半期連結損益計算書の営業利益	190,193

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,196,559	203,481	3,400,040
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,196,559	203,481	3,400,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,513	862,095	900,609
計	3,235,072	1,065,577	4,300,650
セグメント利益	310,158	112,322	422,480

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	422,480
棚卸資産の調整額	11,100
セグメント間取引消去	11,276
四半期連結損益計算書の営業利益	444,857